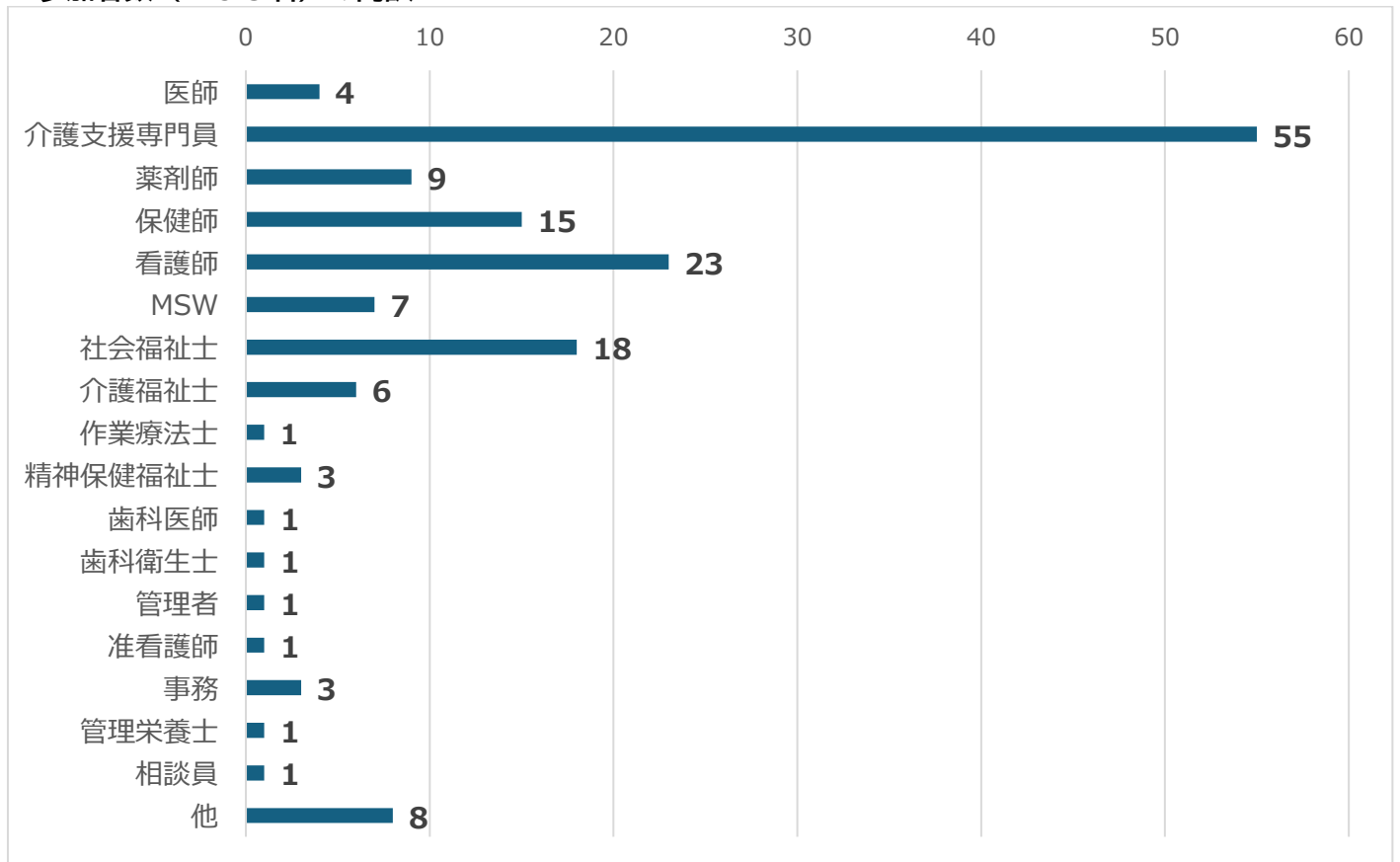


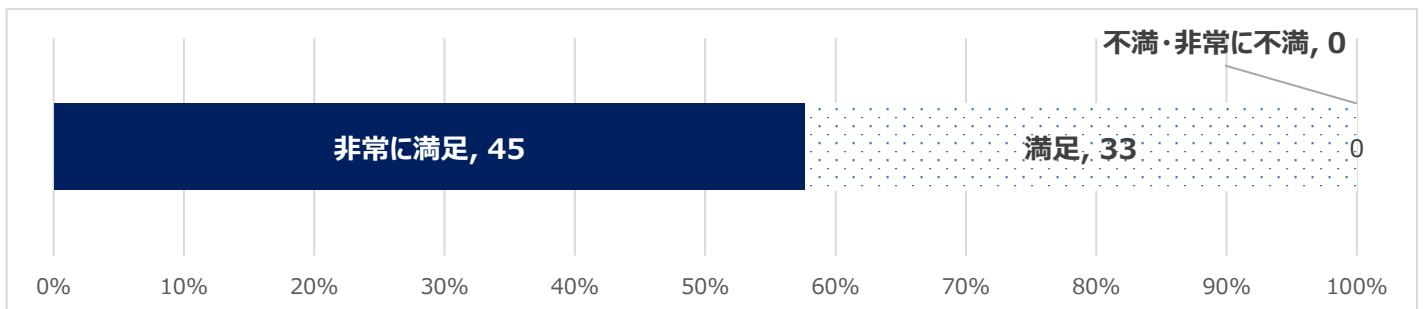
令和 7 年度 医療と介護の連携検討会[西部]

- 1 日 時 令和 7 年 8 月 1 日 (金) 19:00～20:30
- 2 会 場 アルメイダ研修会館 大ホール
- 3 内 容 認知症の人へのよりよい支援～医療と介護の連携できること～
- 4 参加者数 (158名) の内訳



5 アンケート集計 (n = 78)

問 1. 本日の満足度はいかがでしたか？



非常に満足

[医師]

- ・地域で医療介護を行う上で、多職種での意見交換はとても大切

[介護支援専門員]

- ・多職種のお意見や多忙さ、それぞれ努力していることが聞けた。
- ・楽しい時間を過ごすことができました。
- ・専門職の方からしか聞けない、貴重な話を聞くことができた
- ・発表がなかった。
- ・精神科につながる際に苦労することが非常に多いので、今日は病院相談員の方の日頃の取組や地域で利用できるサービスを改めて知れたことで、ケアマネだけで抱え込まずに、様々な職種の方の力を借りられそうです。
- ・日頃聞けない職種の生の声がきけて、よかった

- ・初めての参加で、とても勉強になりました。
- ・多職種の視点の違い、支援の広がりを知ることができた。
- ・多職種連携が大切なこと、早期に認知症の方を発見し、機関につなぐことが大切だと改めて感じた。
- ・他職種の話題が聞けた
- ・普段関わりがうすい職種の方と話ができて、多方面からの意見が聞けてよかった。
- ・医師や訪問看護、小規模多機能や包括の視点から、認知症ケアについてや社会資源について意見交換ができた。ざっくばらんに話すことができた。
- ・多職種で聞きたいことがたくさん話し合えたのでよかったです。
- ・他の職種の意見を十分に話が聞けた。とても貴重な研修でした。
- ・多職種のかたの事例や考えを知ることができた
- ・他職種の方から、普段聞けないお話を聞くことができ、勉強になりました。
- ・とても自由な雰囲気でお互いに話が進みました。
- ・いろんな人と関わった
- ・グループの中にお医者様がいられて、普段聞けないことを質問することができました。包括のとりまとめがよい雰囲気にもっていかれました。人数が多くて、グループ内の離れている方の話が聞きとりにくかった。
- ・事業所でも研修や検討会がありますが、さまざまな職種の方とのグループワークでは、いつもと違う発見や気づきがたくさんありました。
- ・自己紹介での笑顔のもとを皮切りに話がはずんだ。積極的に意見、グループ内で質問したいことができたのでよかったと思います。
- ・気になっていたことを直接その職種の方に伺うことができたので、よかったです。

[看護師/准看護師]

- ・今まで気づけなかったことや新しい発見がありましたので、今後の業務に活かしていきたい。
- ・いろいろな話が聞けて参考になった。
- ・いろいろな職種の方に認知症の方で家族へのケアやアプローチの仕方を学べた。困難事例に真摯に向き合っている姿をみて、元気をいただいた。
- ・多職種で活発な意見を交わせたので
- ・現在の具体的な認知症の方の問題点について、話し合えた
- ・日頃関わりつつも、深く話せない職種の方々と身近な問題について話すことができ、満足度が高かった
- ・皆と顔をみて、たくさん話せたこと
- ・多職種の人たちとグループディスカッションすることで、普段皆さんがしていることや認知症の方との関わり方を知ることができた。なかなか聞けない、医師からの話も聞けて、とても勉強になった。今後の仕事に役立てたい

[社会福祉士]

- ・他職種でとても良い情報交換ができた
- ・直接、日頃関わっている事業所の方と顔を合わせて意見交換ができた。多職種の意見が聞けた。

[介護福祉士]

- ・職種の違う方々の日々の苦労話や改善方法を聞くことができたため。自己紹介で、「私の笑顔のもと」を聞いたことで、和やかな雰囲気の中でグループワークができた。
- ・いろんな職種の現状を聞いて、勉強になりました

[相談員・MSW]

- ・認知症の患者、家族に対する関わりについて、普段あまり関わることのない職種とも意見交換でき、とても有意義な時間を過ごせた
- ・他職種の方の現場のお話が聞けて、非常に参考になりました

[保健師]

- ・発表がないことで、テーマにこだわらず自由に発言できた
- ・普段ゆっくり話せないのも、お互いの仕事での困りごとなどを伺うことができたので
- ・様々な立場からの意見が聞けてよかった。いつも一方向からの視点でしか見れていなかったのも、とても勉強になった。
- ・ざっくばらんに意見交換ができ、認知症の方や家族の実態を知ることができました

[その他]

- ・いろいろな話が聞くことができました。[薬剤師]
- ・認知症のある方への対応に悩んでいたため。[作業療法士]
- ・いろんなことを知れて、楽しかった [管理者]

満足

[介護支援専門員]

- ・他の人が感じていること、経験を聞けて新鮮です
- ・発表のないグループワークはとても楽しかったです。また次回も参加したいと思います。
- ・発表などを気にせずに話せた。
- ・グループワークが長く、話を多職種から聞くことができた
- ・グループワークはよかったのですが、人数と会場の大きさがあってなく、声が聞こえにくかったです
- ・認知症の方に対する接し方について。各年代での交流、アニマルセラピーの話ができた。役割をもつことが大切。
- ・日頃の仕事上での取り組み方を聞くことができ、大変参考になりました。また、エネルギーな方の意見を伺え、心洗われました
- ・いろんな立場の方の意見を聞くことができた。最後の各職種の方々とお話を聞いて、1 人じゃないという力をいただきました。このような会に参加してくれるメンバーは優しいと思いました。日々大変だけど、出会えてよかったです。
- ・いろいろな方と交流ができ、話が聞けてよかった。
- ・普段話すことが少ない職種の方々と、垣根なくお話ができてよかったです
- ・「発表しなければ」というプレッシャーがなかったため、日頃聞けないような細かい部分で、グループ内で話をすることができた。
- ・様々な職種の方と交流できて、よかったです。
- ・多職種でのグループワークだったので、それぞれの悩み事が知れたので
- ・MSW の人の話が聞けた。入院患者を在宅で受け取ることで、互いに必要、ほしい情報のことが聞けた。

[看護師]

- ・他職種の方々の意見をたくさん聞けた
- ・認知症退院支援についての、いろいろななかかわり方を学びました
- ・話しやすい雰囲気でした。

[介護福祉士]

- ・各職種の方の話が聞けて勉強になった
- ・他職種と話し合いができた

[保健師]

- ・他職種の方の話が聞けた
- ・いろいろな職種から話が聞けたから
- ・発表や記録にとらわれることなく、自由に情報交換ができた。
- ・時間が足りないくらい情報交換ができた。また全体ワークで他の職種からの話を聞けてよかった
- ・様々な職種の立場から経験を交えて意見交換ができた。とても有意義な時間でした。

[社会福祉士]

- ・皆さんで日頃の支援について話せるのはよかったのですが、人数が多くて話の声が聞きとりづらかったです。
- ・日頃困っていることや感じていることなどをざっくばらんに話すことができた。
- ・普段お話をする機会の少ない職種の方々とお話できたこと。また机が狭く、距離が近かったので、話がしやすかったです。最後に発表をするプレッシャーがなかったのも、自由な意見交換ができたと思います。

[地域包括支援センター]

- ・日々の業務の中で、認知症に携わる方たちと一緒に席に座らせていただき、皆さんの意欲ある姿に感銘しました。
- ・医師や他職種の意見が参考になりました。
- ・発表や記録がなく、話すことに集中できたため

[事務]

- ・他職種の方々にお話を聞けたから
- ・通常の業務では関わりがない職種の方々から、貴重なお話を聞かせていただいたため

[薬剤師]

- ・様々な職種の方たちのお話を聞けたため

問 2.今年度は大分市を3つのブロックにわけて開催しました。この開催方法について、ご意見・ご感想をお聞かせください。

[地域性、関わりのある人でよかった]

- ・圏域外の方の話も聴けるので、面白い。
- ・自分のブロックで利用できる様々なサービスが知れるので、とてもよかったと思います。
- ・地域性がでて、よかった。
- ・地域のつながりが深まったと感じた。ブロックごとでまた参加したい。
- ・3ブロックにわけることで、近い圏域で顔の見える関係づくりができると思います。今後もわけて開催してほしいです。
- ・多かったけどよかった。
- ・ブロックにわけたことで、連携がとりやすかった。
- ・いい方法だと思います。ブロックごとなので、連携にもつながるので。
- ・利用者の社会資源としてつながる地域。顔なじみの関係づくりのきっかけになり、よいと思った。
- ・ブロックごとでよいと思う。人数が多くなると混雑する、グループの声も聴き取りにくくなる。
- ・圏域外だけど、近い圏域の方々との交流ができるのはありがたいです。
- ・直接関わることもある地区内での開催がとてもよかった。
- ・人数が多いのに驚きましたが、ブロックでの検討会だと包括単位より幅広く、関係者を知ることができると思います。
- ・人数的にもちょうどよかったと思います。
- ・身近な方々と意見交換できて、よかったです。
- ・3ブロックにわけて、150人以上の参加はすばらしいと思います。
- ・西部だけでも160名の参加でしたので、このままブロックわけの開催がよいと思います。
- ・ブロックが絞られているため連携しやすい。また、実際に連携している方と話ができて、ありがたかった
- ・地域性がわかりやすかった。
- ・今年度はじめて参加したため違いはわかりませんが、参加させていただいた西部地区、とても熱気があってよかったと思います。
- ・比較的身近な地域だったので、今後もつながりを期待しています。
- ・今回の地域の範囲か、それより狭い範囲くらいがよいと思う。遠方の地域と顔をあわせても、なかなか次につながらない。近隣地域で集まって開催が望ましいと思う。
- ・ちょうどよい。（大分市内は広域のため）
- ・自事業所付近の他事業所の方々と接点ができたので、よかった
- ・今回の規模が話しやすい。

[対面で顔をあわせることができ、よかった]

- ・人数が多いと感じたが、いろんな方が来ているのがわかり、よかった。
- ・普段、電話連絡するだけの連携となっていたが、ケアマネさんと顔をみて挨拶することができたので、とてもよかった。
- ・同じ地区にいろんな業種の方々がいて、連携することが大事だと思いました。特に他の地域でも問題ないと思います。

[多職種で意見交換ができ、よかった]

- ・参加者の人数が多く、テーブルが各班に1つしかなかったので、最初は狭すぎるかなと思ったけど、話をしているとちょうどよかった。また日頃関わりのない方とグループで意見交換できたので、よかったです。
- ・人数が多く、参加者ともう少し話したかった。共有の時間があったことも、とてもよかったです

[グループワークに関すること]

- ・発表にないグループワークがよいです。安心して勉強できました。

- ・多くの方の話が聞けてよかった。グループワークの発表がなく、フリートークがよかった。いろんな職種に聞いた、最後の話がよかったです。
- ・ちょうどよい規模だと思います。ただ活気があるがゆえか、声が聞こえにくかったです。
- ・参加者が多いがゆえに、グループワークの際、声の聞き取りが難しい時がありました。

【改善、検討してほしい】

- ・テーブルが小さかった。
- ・ちょっと多すぎたかも
- ・3ブロックでは地理的に範囲が広すぎると感じました。
- ・はじめての参加ですが、定期的にやり方を変えることで、より意見交換ができるのではと思います。
- ・もう少しブロックを小さくわけてもよい。西部で160名で意義でしたが、自分のテーブルの方以外との交流がもちにくかった気がします。
- ・開催場所を選ぶのは難しいと思います。たくさんの方と意見交換できるので、あのスペースでお話できて嬉しいのですが、この時期なので換気されてたらすみませんが、気になりました。
- ・会場にすし詰めな感じだったので、感染症などが心配でした。
- ・近場の方と顔見知りになる機会がよかったが、コロナが増えつつあり、人数が多かったのが気になった。
- ・もう少し小規模で開催してほしい。
- ・研修後駐車場を出るまでに30分かかりました。可能であれば、もう少しスムーズに帰宅できるように、ご検討いただければと思います。

【その他】

- ・また開催してほしいです。
- ・今後もこのような場を設けていただけるとありがたいです。
- ・今回は初めての参加だったので、今までの様子はわかりませんが、参加者が多く、皆さん熱心にお話をされていて、驚きました。

問3.今後この検討会で、多職種で検討（意見交換）したいテーマがあれば、教えてください。

- ・困難事例など
- ・身寄りのない人への支援方法
- ・カスタマーハラスメント
- ・身寄りのない人、独居の人の対応。介護保険以外のサービスへのつなぎ方。
- ・認知症ケア、独居の方へのケア
- ・医療との連携について、勉強したい
- ・また開催してください
- ・身寄りのない方の支援について
- ・介護予防
- ・地域医療と介護の課題について
- ・独居の方への支援、アプローチで苦労すること
- ・テーマはたくさんありすぎて絞れませんが、行政関係者にグループワークに参加してほしい。
- ・精神疾患の方についての介護と医療の関わり方等
- ・ターミナル期の方の支援について。生活困窮者の支援について
- ・多職種連携で困っていることなど、聞きたい。ケアマネへもっとこうしてほしい等があれば知りたい。
- ・難病や障害のかたの医療、介護の連携について
- ・介護世代の移行（介護を受ける人、介護者が若年化）に伴う、医療介護連携のあり方など
- ・認知症の事例検討会など
- ・看取りについて→施設での看取り、病院でも看取りがあると思うので、多職種でぜひ検討してみたいです。
- ・楽しく連携できれば、どんな内容でもよいです。
- ・テーマを決めて発表にすると、発表するための話になってしまうので、特に決めなくて、自由に話ができるのも良いと思います。
- ・連携の具体的手段。どうするとより連携がスムーズに行えるのか
- ・医師に担当の方の話を気兼ねなく聞いたり、伝えたりできるシステムを作してほしい。病院によっては、受診時についてきてと言われるが、

仕事によってはいけないし、受診が終わっていたりする

- ・医療と介護のスムーズな連携方法。地域連携室があるところは、SW を通じて話をしやすいが、個人開業医の医師には、連携シートだけで良いのだろうかと・・・
- ・入院が 5 年以上経過している方の事例をもとに、どのような退院支援を行っていくとよいかなどを多職種と意見交換を行いたい
- ・主治医意見書予診票など書類の扱いについて、病院側の方と話してみたい
- ・主治医意見書予診票の件について、認識をすり合わせたい。包括に求めるのではなく、主治医のところで家族に話を聞いて書いてもらうなどしていただきたい。新規申請で包括では全く情報がわからないケースが多々あるため。
- ・特に希望するテーマはありませんが、また来年度も参加したいと思います。
- ・認知症ネットワークについて
- ・訪問看護と連携室と主治医の連携について
- ・看取りや急変時の本人の同意確認について
- ・日々、業務する上で問題ごとがある。それを改善できる話合いはできないのか？と思う。もっと現場の声をひろい、改善に努めてほしい。
- ・全く身寄りがない人の緊急時の受け皿をどうするか？医療と介護の分野でお互いが何をできるか？
「身寄りがない人に対しての課題について」
- ・親族がいらない、または疎遠な対象者の支援について